

FOOD BANK FUKUOKA NEWS vol.



TOPIC

- 食品ロス削減共同研究プロジェクト事業平成30年度計画 p.1
- 活動報告① フードドライブを実施しています p.2
- 活動報告② 寄付型自動販売機の設置が進んでいます p.2
- Interview ありがとうの家 代表（行正奈央さん） p.3
- お知らせ p.4

食品ロス削減共同研究プロジェクト事業 平成30年度計画

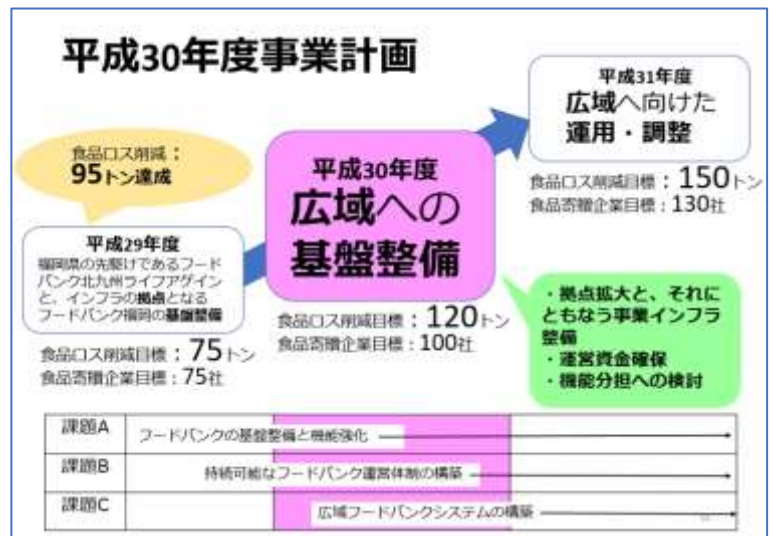
3月30日に福岡県リサイクル総合研究事業化センターの食品ロス削減共同研究プロジェクトの継続審査会が行われ、無事に継続受託することができました。平成30年度からは特例認定NPO法人アカツキさんをアドバイザーに加えプロジェクトを加速していきます。

本プロジェクトでは、3カ年で福岡県内を網羅する広域型フードバンクシステムを構築することを目指しており、平成30年度は2年目にあたります。（右下図参照）

平成29年度は、プロジェクトとして食品ロス削減目標75トンに対し95トンの取扱い、食品提供企業数75社の目標に対し83社と目標を達成することができました。

平成30年度は、食品ロス削減120トン、食品提供企業100社という目標の達成はもちろんのこと、「広域への基盤整備」として、新たな拠点整備と持続可能なフードバンクとするための運営資金の確保に重点的に取り組みます。

特に資金調達の面では、長期的な視野の下に資金を集める仕組みづくりと短期的な資金調達を両立すべくファンドレイジングを活用することとしています。



活動報告① フードドライブを実施しています



フードドライブとは、英語で food「たべもの」と drive「運動」で、「たべものを集める運動」という意味です。家庭にある食品を学校や職場などに食品を集め、集めた食品をフードバンクや福祉施設などに寄付する運動のことをいいます。おいしいランチを食べに車でドライブすることではないんですね。

3月16日にはエフコープさん4店舗で場所をお借りして、同時に回収活動を行いました。まだ耳慣れない活動ですが、「定期的実施して欲しい！」というお客様の声も聞かれ、これをきっかけにして広がっていかねばと考えています。

また、地域づくりにも貢献できるのがフードドライブの魅力です。公民館や地域イベント等、皆さんの集いの場にどんどん取り入れていただきたいです。

活動報告② 寄付型自動販売機の設置が進んでいます

寄付型の自動販売機をご存知ですか？

街中にある自動販売機ですが、寄付型のもは売上（販売手数料）の一部を指定する団体に寄付する仕組みになっています。設置オーナーは振込みなどの手間が無く、購入者は気軽に社会貢献をすることができます。有名などころでは盲導犬協会さんやアビスパ福岡さんの自動販売機をよくみかけるかもしれません。

フードバンク福岡でも大塚製薬さん、コカ・コーラウエストさんに仕組みを提供していただいています。今年4月にはエフコープ生協さんのご協力により県内のフードバンク3団体への寄付型自動販売機が設置されました。

皆さんも街中で寄付型自販機をみかけたらフードバンク福岡を問わず、寄付型の自動販売機を選んで購入していただけたらうれしいです。



くらしを笑顔に

報道関係 各位

FCO-OP

2018年4月27日(金)
エフコープ生活協同組合

エフコープは5月1日(火)よりエフコープ店舗の清涼飲料水の自動販売機の一部を「寄付型自動販売機」に入れ替えます
～1本につき3円がフードバンク団体に寄付されます～

エフコープ生活協同組合（本部：糟屋郡築紫町）は、福岡県内のフードバンク団体の支援活動において、このたび、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様（本社：東京都港区、以下、コカ・コーラ）のご協力により、エフコープ店舗にある清涼飲料水の自動販売機について、9台を「寄付型自動販売機」に入れ替えます。

■経緯
エフコープでは、一昨年からは、ふくおか県産フードバンク様と「協賛協定」を締結し「こども食堂」の運営支援の一環を担わせていただいています。また、(特活) フードバンク北九州タイプアゲイン様および(特活) フードバンク福岡様とは、ともに「フードバンクを活用した食品ロス削減推進共同研究プロジェクト」を構成し活動をすすめています。このたび、各団体との協議とともにコカ・コーラ様のご協力により、「寄付型自動販売機」への入れ替えに至りました。当該自動販売機での購入1本につき3円が各フードバンク団体に寄付され、寄付額の見込みは年間約7万円ほどを見込んでいます。



interview ありがとうの家 代表 行正奈央さん

フードバンク福岡に集まった食品を活かす配送のお手伝いしていただいている行正さん、このたびシングルマザーを支援するシェアハウス「ありがとうの家」をオープンされました。支援にかける思い、フードバンクとのつながりについてお聞きしました。

なぜシェアハウスを始めたられたのですか？

自分自身がシングルマザーになった時に、鬱病にもなっていて、凄くきついし孤独を感じていました。子育てが出来なくていっぱいになっていた時期があり、誰が居てくれたり、存在があるだけで、嬉しかったり、助かったりするを経験し、誰かがそばにいてくれて安心できる、そんな場をつくりたいと思いシェアハウスをはじめました。

シングルマザー支援にかける思いを教えてください。

自分の経験も踏まえて、ひとりで何でもかんでも頑張り過ぎてしまって、笑顔が消えてしまうことがあるお母さんを見ると、きっと子供も笑顔になれないだろうなぁと想像してしまいます。そんな親子をどんどん笑顔にしていきたいと思います。頑張っているお母さんと一緒に伴走して、親子で描く夢に一步でも近づくお手伝いが出来たらと思っています。

フードバンクはどのように役立っていますか？

フードバンク福岡の商品をひとり親家庭に配布させて頂いて、1年半程になります。多くの家庭がとても助かっていて、有難い存在だと感じています。これからも入居者の方も含めて、フードバンクさんからの商品を通して、ひとり親の可処分所得が少しでも上がるように出来ていけたらと思っています。

シェアハウスについて紹介してください。

太宰府市朱雀四丁目に完成した『ありがとうの家』。シングルマザーの親子が自立できるまで、一緒に伴走してゆくお家になります。西鉄二日市駅徒歩10分程の場所にあり、買い物、病院、学校、仕事と自立への道のりが比較的早くできる立地になっています。目の前に公園もあり、子育て環境は抜群です。小さな困りごとでもいいので、相談してもらおう事で、ひとり親家庭が、一步進める場所になればと思います。

シェアハウスにご興味のある方はフードバンク福岡の事務局までお問い合わせください！



お知らせ

食品提供企業がこんなに増えました！

フードバンク福岡では、公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センターの支援のもと、食品提供企業の開拓を行っており、平成30年5月31日現在で食品提供企業数が70社となっています。

【平成29年9月以降の新規提供企業の皆様】

- コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様
- イカリソース株式会社様
- 石井食品株式会社様
- 九州太平寺商事株式会社様
- 株式会社糸島みるくぷらんと様
- 有限会社藤井食品販売様
- 株式会社ライフサポート様
- 株式会社久原本家グループ本社様
- 九州ネクスト株式会社様
- 福岡県様
- 福岡県農業大学校様
- 東福岡米穀協同組合様
- エフコープ生活協同組合様
- 株式会社オーニシ様
- 株式会社健翔様
- 株式会社味の兵四郎
- 福岡市農業協同組合様
- 博多魚嘉様
- 福岡県民共済生活協同組合様
- カルゲン製薬株式会社様
- 株式会社ピエトロ様
- 宮崎ファームング有限会社様

平成29年度食品取扱実績 (H29.4.1~H30.3.31)

受入企業数 63社 (昨年度28社)
受入量 44t (昨年度13t)

募金箱パートナーを募集しています！

募金箱が完成しました！
募金箱を置いてくださる団体様を募集しています。
ご協力いただける方は、事務局までご連絡ください。



継続的な支援をお願いします

フードバンク活動は無償で寄贈いただいた食品を、必要とする方に無償で提供しております。活動自体で収益を上げることができないため、食品をお届けするための送料や運営費などを寄付に頼らざるを得ません。ぜひ、フードバンク福岡を継続的に支援するサポーターになって下さい！

正会員	年会費1口	個人	5,000円
		団体	20,000円
賛助会員	年会費1口	個人	2,000円
		団体	10,000円

振込先 福岡銀行 那珂川支店
口座番号 普通 871236
口座名義 特定非営利活動法人フードバンク福岡
理事 雪田千春

FOOD BANK FUKUOKA NEWS vol. 2

発行日 平成30年7月20日
発行 特定非営利活動法人フードバンク福岡
事務局 〒811-1352
福岡市南区鶴田4丁目48-4
TEL：092-710-3205
FAX：092-710-3206
E-mail：fbfukuoka@gmail.com
HP：http://www.fbfukuoka.net/

